

3 線形写像の像と核/線形結合と部分空間

演習 3.1 (教科書の問題 5.3+) 次で定義される線形写像 $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$ について, $\text{Im } f$ と $\text{Ker } f$ とをそれぞれ求めよ. また, \mathbb{R}^2 を座標平面と同一視したときに, それらを例題 (黒板で説明します) にならって図示せよ.

$$(1) f: \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x \\ x \end{pmatrix} \quad (2) f: \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x+y \\ 0 \end{pmatrix}$$

$$(3) f: \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x+y \\ x-y \end{pmatrix}$$

演習 3.2 次の \mathbb{C}^2 の部分集合 W が部分空間になるかどうかを理由とともに述べよ.

(1) A をある 2×2 の複素行列, α をある複素定数とするときの

$$W = \{x \in \mathbb{C}^2 \mid Ax = \alpha x\}.$$

$$(2) W = \left\{ \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} \in \mathbb{C}^2 \mid x_1 = \bar{x}_2 \right\} \quad (\bar{x}_2 \text{ は } x_2 \text{ の共役複素数}).$$

$$(3) W = \left\{ \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} \in \mathbb{C}^2 \mid x_1 = \sqrt{-1}x_2 \right\}.$$

演習 3.3 $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3$ を

$$f: \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x_1 + x_2 \\ x_1 - x_2 \\ 3x_1 + 2x_2 \end{pmatrix}$$

によって定める. このとき, 次のベクトル $v \in \mathbb{R}^3$ が $\text{Im } f$ に入っているかどうかを判定せよ. また, もし入っている場合, $f(x) = v$ となるような $x \in \mathbb{R}^2$ を求めよ.

$$(1) v = \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} \quad (2) v = \begin{pmatrix} 1 \\ 3 \\ 4 \end{pmatrix} \quad (3) v = \begin{pmatrix} 3 \\ -1 \\ 7 \end{pmatrix}$$

時間が余ったら, 次も考えてみてください (ここから下は追加点対象の問題).

演習 3.4 K を \mathbb{R} または \mathbb{C} とする. ある線形写像 $f: K^n \rightarrow K^m$ があって, $m \times n$ 行列 A によって $f(x) = Ax$ ($x \in K^n$) と表されているとき, 次を証明せよ (裏へ):

$$\text{Ker } f = \{\mathbf{0}\} \Leftrightarrow \text{rank } A = n.$$

[ヒント] 実質的には「線形代数 I」の範囲に入る問題.